

信濃川水系 才歩川・山田川

床上浸水対策特別緊急事業

～安全で安心して暮せる水害に強いまちづくり～



H8.9.12 撮影



新潟県土木部河川整備課  
新潟県三条土木事務所

## 事業の実施概要

床上浸水対策特別緊急事業は、平成7年度に創設され、床上浸水が頻発している地域の浸水被害の解消を目的とするものです。

才歩川及び山田川では、川の断面が小さく流下能力が不足しているため、平成12年度までの10年間に延べ6回の浸水被害(床上・床下浸水計213戸)が発生しており、積極的に浸水被害が発生しています。

このため、平成12年7月15日の浸水被害を契機として、平成14年度に床上浸水対策特別緊急事業に採択され、平成18年度を目途に床上浸水の解消を目指した河川改修事業を実施します。

計画概要	
事業費	約119億円(うち直轄事業費約27億円)
整備延長	才歩川：L=3,835m(うち直轄施行区間935m) 山田川：L=1,020m
流域面積	7.5km <sup>2</sup>
計画洪水流量	110m <sup>3</sup> /s(才歩川下流部)
比流量	14.7m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup>
超過確率	30年
事業内容	才歩川：河橋の拡大、天井川の解消、 JR盛越本線鉄橋の架替、 徳瀬川合流点での逆流防止水門の改築 山田川：河橋の拡大、放水路の開削

## 平成12年7月15日豪雨の状況



新潟県中越、下越地方に停滞していた梅雨前線は、7月15日夜半から、16日未明にかけて急激に活発化し、下越地方を中心に局地的な短時間の集中豪雨をもたらしました。

特に降雨量は才歩川流域に多く、降り始めからの総雨量は、上流の菅の沢観測所で168mm、上戸観測所で140mm、村松観測所で182mmを記録し、そのほとんどが7月15日20時から16日0時に集中していました。

また、1時間の雨量は、菅の沢76mm(15日 22~23時)、上戸倉46mm(15日 23~24時)、村松59.5mm(15日 23~24時)と非常に強い雨が降りました。

## 浸水被害の状況

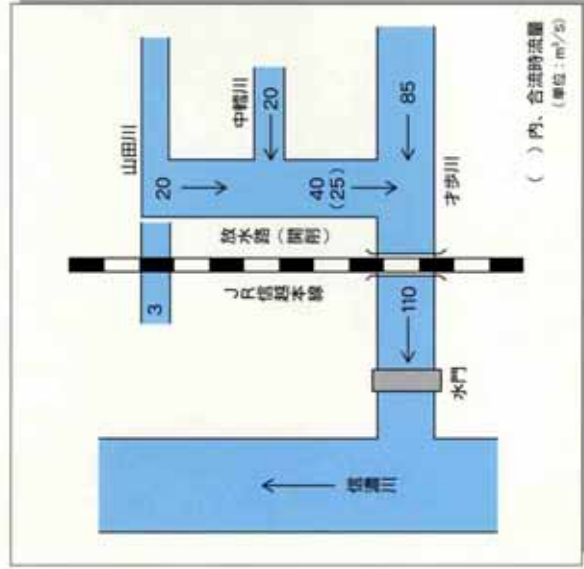


H12.7.15 撮影(田上町大字田上)

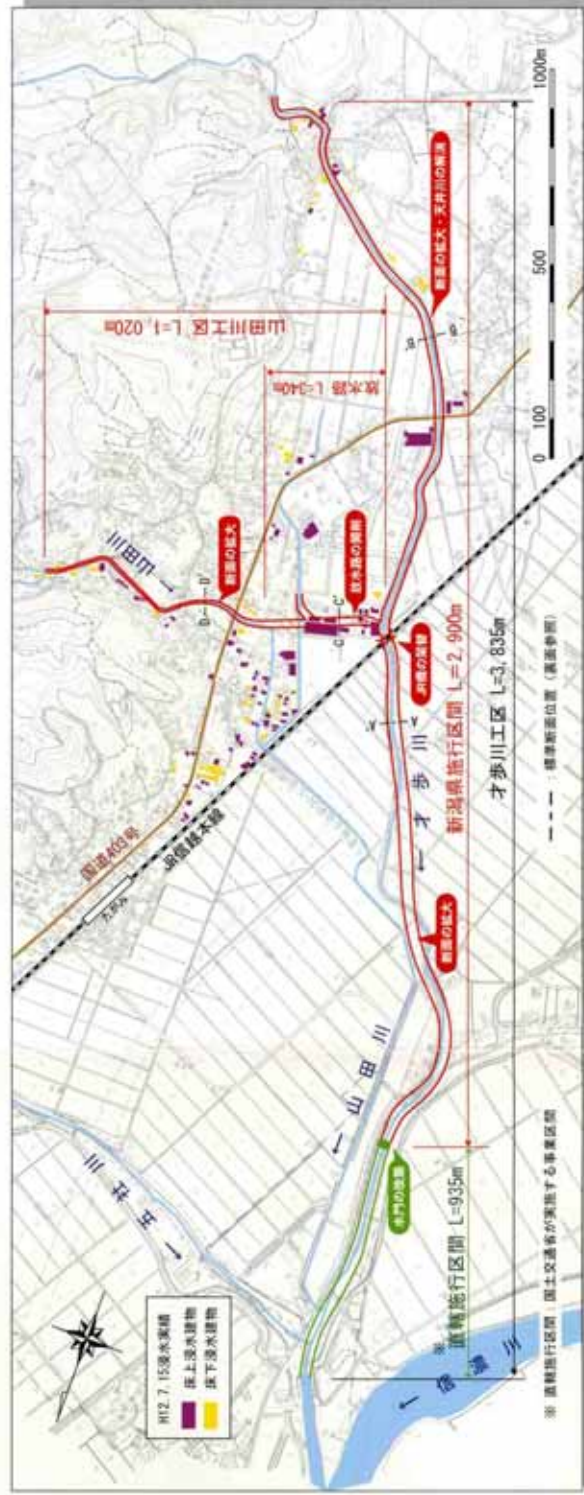


今回の豪雨は才歩川や山田川沿川で床上浸水75戸、床下浸水86戸(ともに非住家含む)の家屋浸水被害をもたらし、地域経済に甚大な被害を与えました。

## 計画流量配分図



## 計画平面図

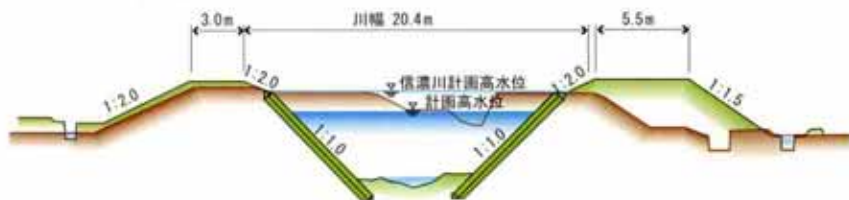


地形図は、田上町より提供された田上全図1：10,000を使用した。

## 標準断面図

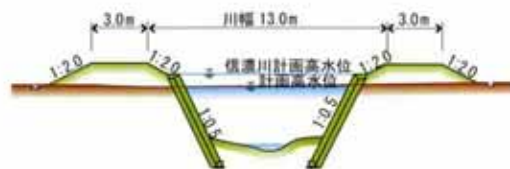
才歩川下流部

A-A'



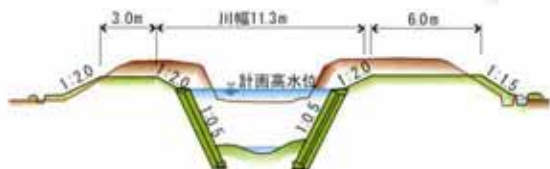
山田川放水路

C-C'



才歩川上流部

B-B'



山田川上流部

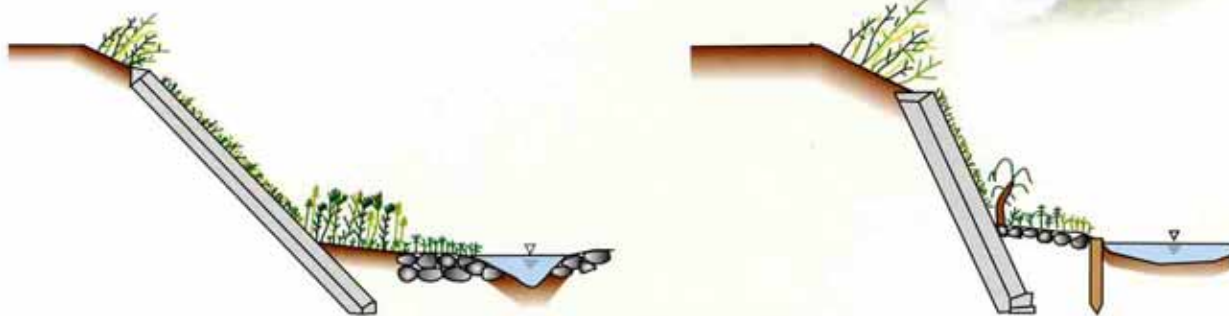
D-D'



### 多自然型川づくりに向けて

才歩川及び山田川の整備区間では、川沿いが水田で植生が繁茂し自然性に富んだ区間も一部見られ、特に才歩川の上流部には、ホタルの生息も見られます。しかしながら、全般的にはコンクリート護岸やコンクリート張りの河床といった区間が多いため、自然景観が保たれず、動植物にもやさしい川とはいえない状況です。

このため、河川改修にあたっては、周辺環境や自然環境に配慮し植生が回復するような護岸を導入します。また、流れや水深に変化を持たせるよう、河床に石や木杭などを配置するなどして、景観の向上や動植物の良好な生息・生育環境の確保を目指します。



(生き物にやさしい川づくりの例)

新潟県土木部河川整備課  
新潟県三条土木事務所

〒950-8570 新潟市新光町4番地1  
〒955-0046 三条市興野1丁目13番45号

TEL.(025)285-5511  
TEL.(0256)36-2307